

思い出の座間 学び舎編

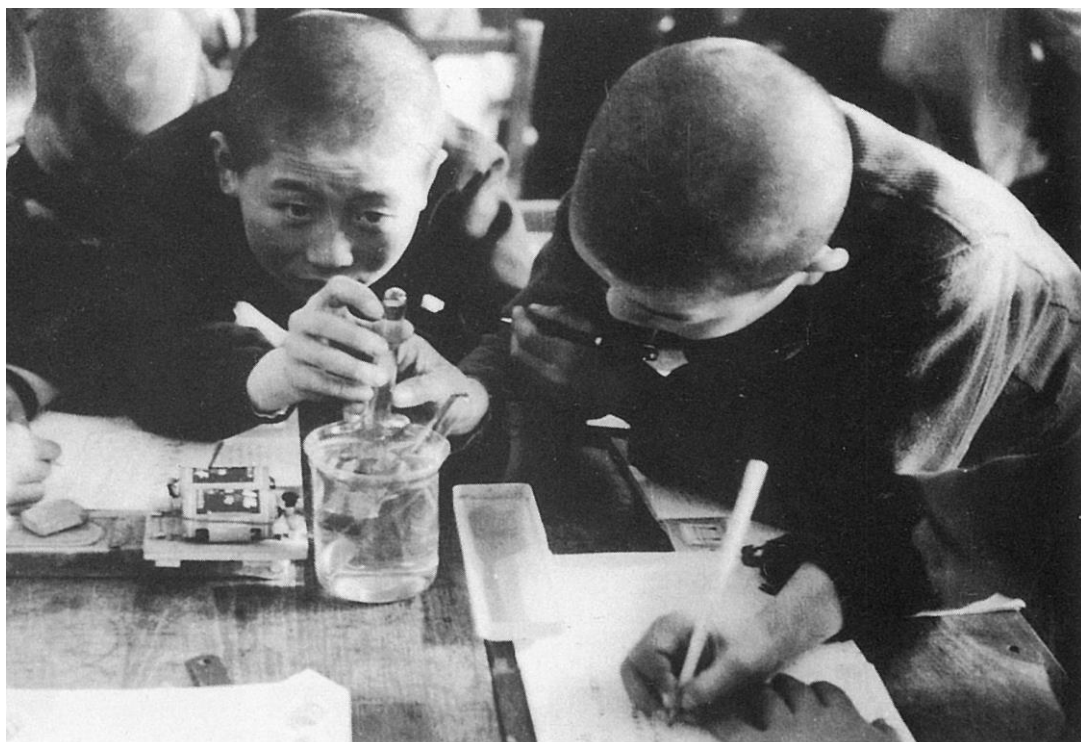
座間で写真が一般的になったのは戦後に入ってからです。それ以前は写真に接する機会はごく一部の人に限られており、何かの記念に厚木や横浜などの写真屋へ出かけたり、出張して来てもらって撮影するのが一般的でした。従って人物写真が多く、風景や出来事を撮ったものはごく少ないのですが、可能な限りアルバムの中からひろい出して編集したのが昭和61年(1986) 3月に発行された「目で見える座間」です。

この「思い出の座間」は、書籍の「目で見える座間」をホームページに忠実に反映することを基本にしております。

今回は、前回の「生活のこよみと人生の儀礼」編に続き、「学び舎」にまつわるコンテンツを紹介させていただきます。

内容は、懐かしの校舎、卒業記念から、実業補習学校、運動会・学芸会、遠足・スポーツ、競技部の活躍、幼年会、第二小学校・座間中学校、終戦直後のスナップ、PTA・給食に関する写真とコメントになります。

学び舎



明治5年(1872)8月の学制発布により、市域にも入谷地区に風牛学舎が、栗原地区に協同学舎が誕生した。その後、二つの学校は現在の座間小学校と栗原小学校となるが、この二校を中心にアルバムの中からいくつかの思い出を拾い出してみた。

写真は昭和28年1月の理科の授業中のスナップ。水の電解の実証実験。生徒の目が生き生きと感じられる。

懐かしの校舎

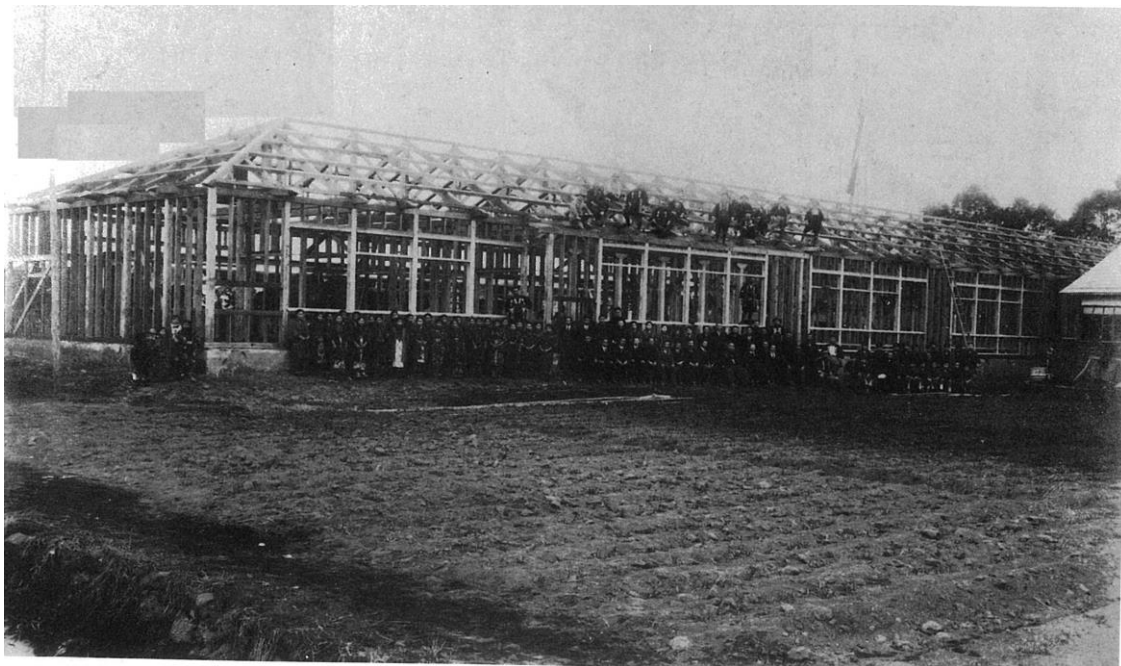


大正時代の座間小学校

当時の運動場は現在の正門から入った所にあり、その奥に玄関があった。

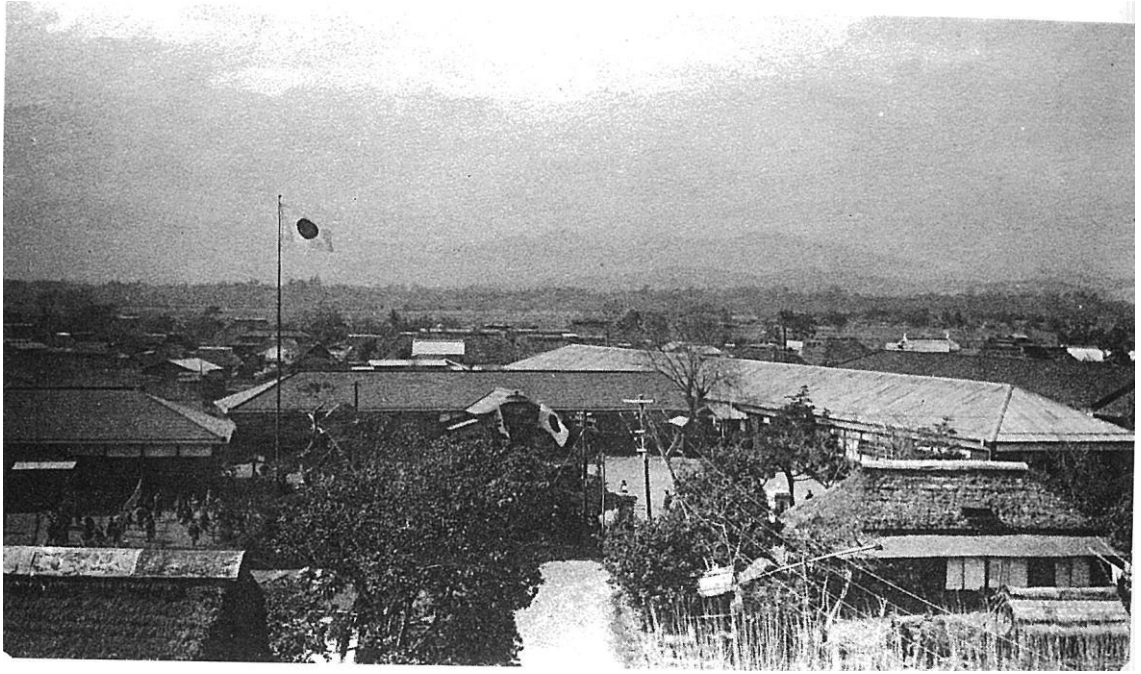
座間小学校の創立は明治28年であり、日新学校(入谷地区)、真誠学校(座間地区)、湘川学校(新田宿・四ッ谷地区)の三校が合併されて現在の位置に建設された。

しかし、その始まりは明治6年7月創立の風牛学舎に遡ることができる。



座間小学校 増築工事記念

(昭和4年)



昭和初期、日の丸が掲げられており、
何かの記念日か。左下の運動場ではバ
レーボールをしている。



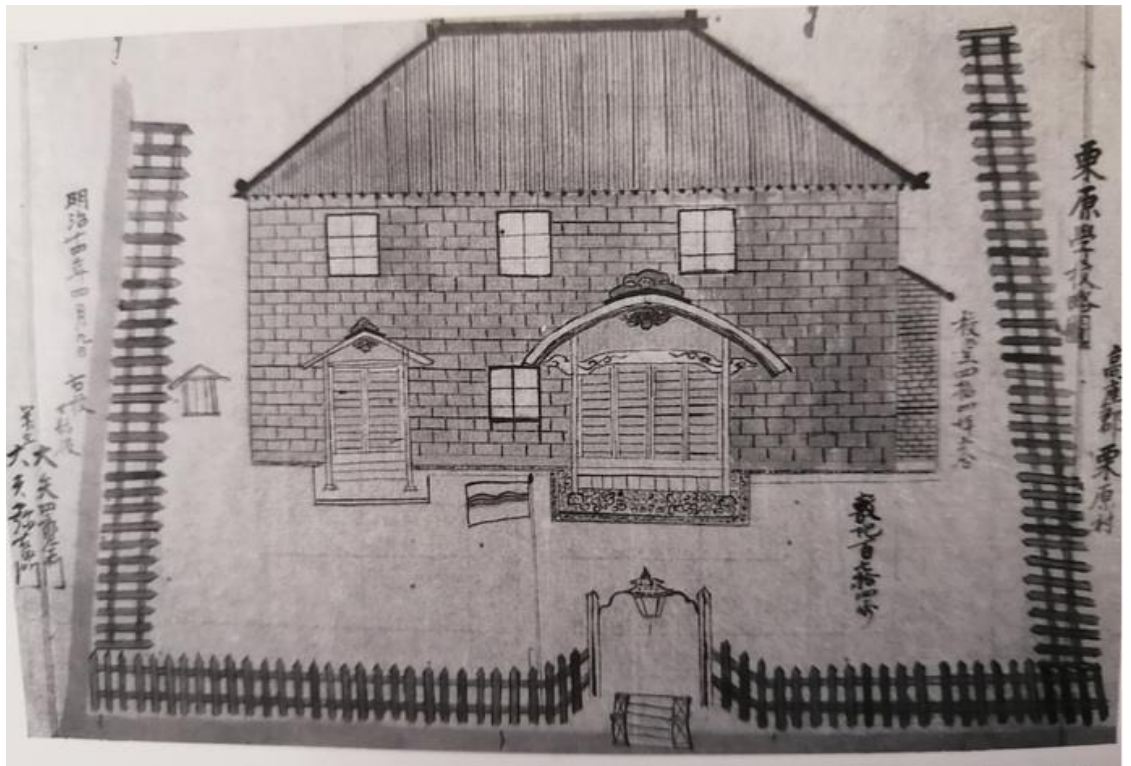
昭和15年 増築後の座間小学校。



昭和14年、座間小学校では本館、講堂、南校舎を建設、同時に敷地南側の水田を買収、埋め立てて運動場をつくる。

前の2つの写真は同じ所(火の見)から撮ったもので比較するとおもしろい。写真は、完成した講堂と南校舎。

栗原小学校



建設された当時の学校の絵図面

栗原学校は明治6年8月5日創立
の協同学舎を明治8年に改称したもので、いわば
現在の栗原小学校の前身的な学校である。

右図は明治14年4月の学校取調書
に添付されているもので、この調書の項目からい
くつかを拾い出してみる。

校堂位置	栗原中央
創立	明治6年8月5日
校舎新築費	2,042円40銭
戸数	216戸
人口	1,197人 (男622人、女575人)
学校区内学齢人員	172人 (男100人、女 72人)
学齢人員中就学生人員	128人 (男 89人、女 39人)
資本金	1,427円50銭
1ヶ年経費	409円12銭
1ヶ年取立金	351円87銭
世話役	2人
教員	正木賢蔵
助教	3人



正面玄関付近(昭和10年ごろ)



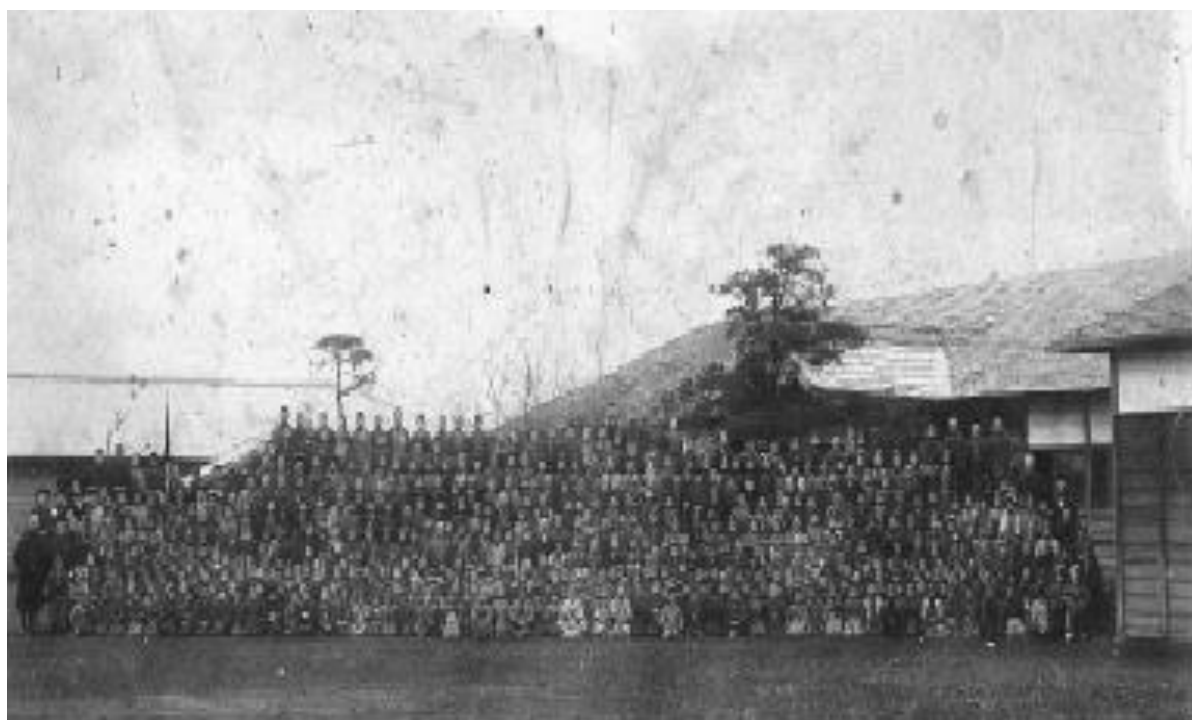
校舎の前でクラス記念
(昭和13年)

卒業記念から（明治時代を含む）



明治時代の 座間小学校。

明治35年ごろか。今までに発見された卒業記念の中では一番古いものである。高等科の生徒全員か、このころは女生徒の数がまだ少ない。



明治44年ごろ、校庭に全員が並んで写す記念写真はめずらしい。中央に校長と村長が写っている。

大正



大正元年、座間小学校高等科の生徒たち。
このころになると、女生徒の服装に縞や模
様のカラフルなものが多く見られるようにな
る。



大正4年頃、大典記念碑の前で。
卒業記念の背景としてこういう所で撮ることはめずらしい。（座間小学校）



大正7年度座間小高等科卒業生。

このころ、男生徒は学生帽をかぶって写している。また、女生徒の髪形は当時流行の「桃割れ」に結われている。



大正10年ごろ、座間小学校高等科卒業生。
まだ高等科には女生徒の数は少ない

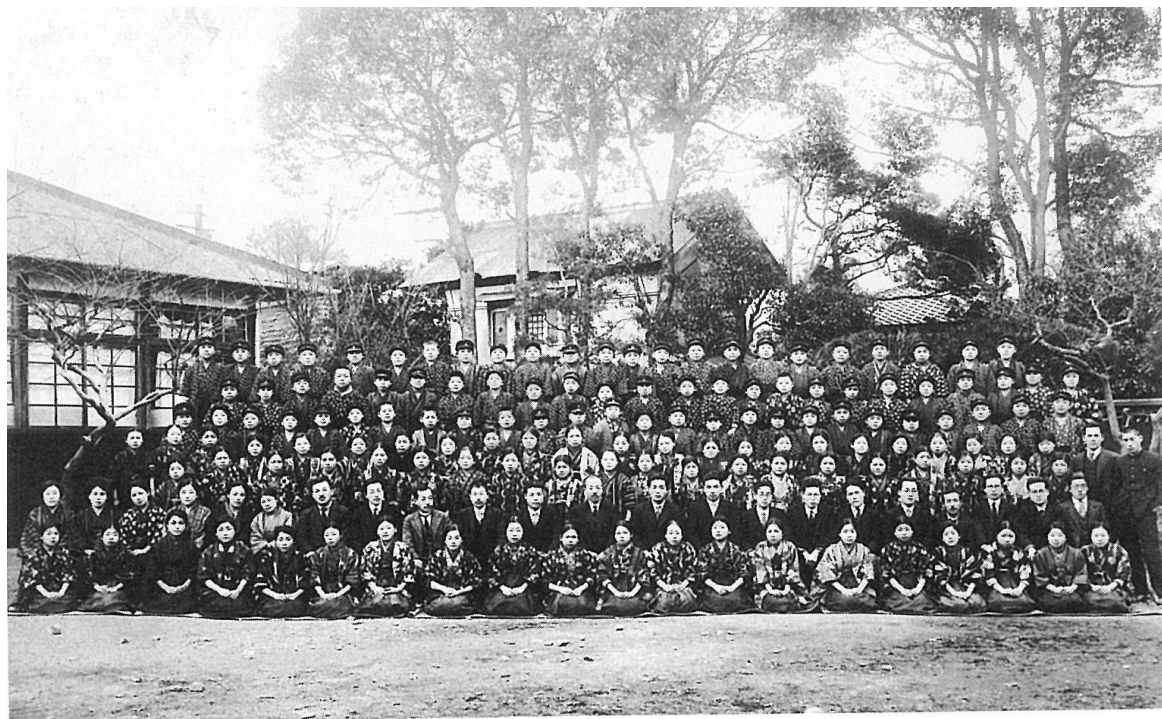


大正11年2月、栗原小学校尋常科最後の卒業生。
この後、栗原小学校は座間小学校の分校となる。



大正13年2月、座間小尋常科卒業記念。
このころの女生徒の髪形はお下げ髪にと変わっ
てきた。

昭和



昭和2年度座間小学校尋常科卒業記念。
栗原の生徒は4年生までが分校で、5年生からは
本校である座間小学校まで通わなければならず、
通学は大変だった。



昭和7年度座間小学校高等科卒業生。
セーラー服姿が一人見える。座間でのセーラー
服はここらに入ってきたものか。



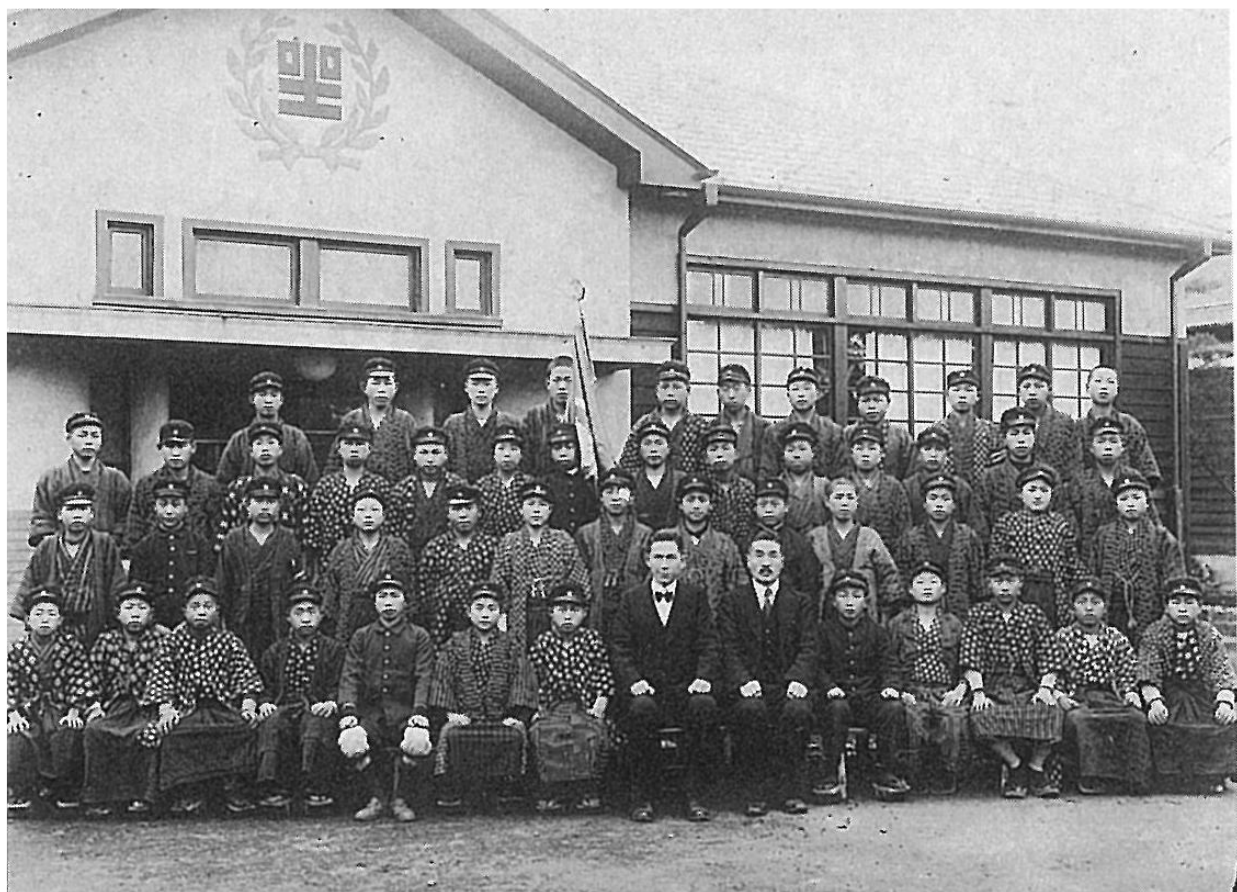
昭和10年2月、このころからクラス別に写すようになる。



昭和10年2月 クラスは男と女に分かれ、人数によって男女組のできる年もあった。



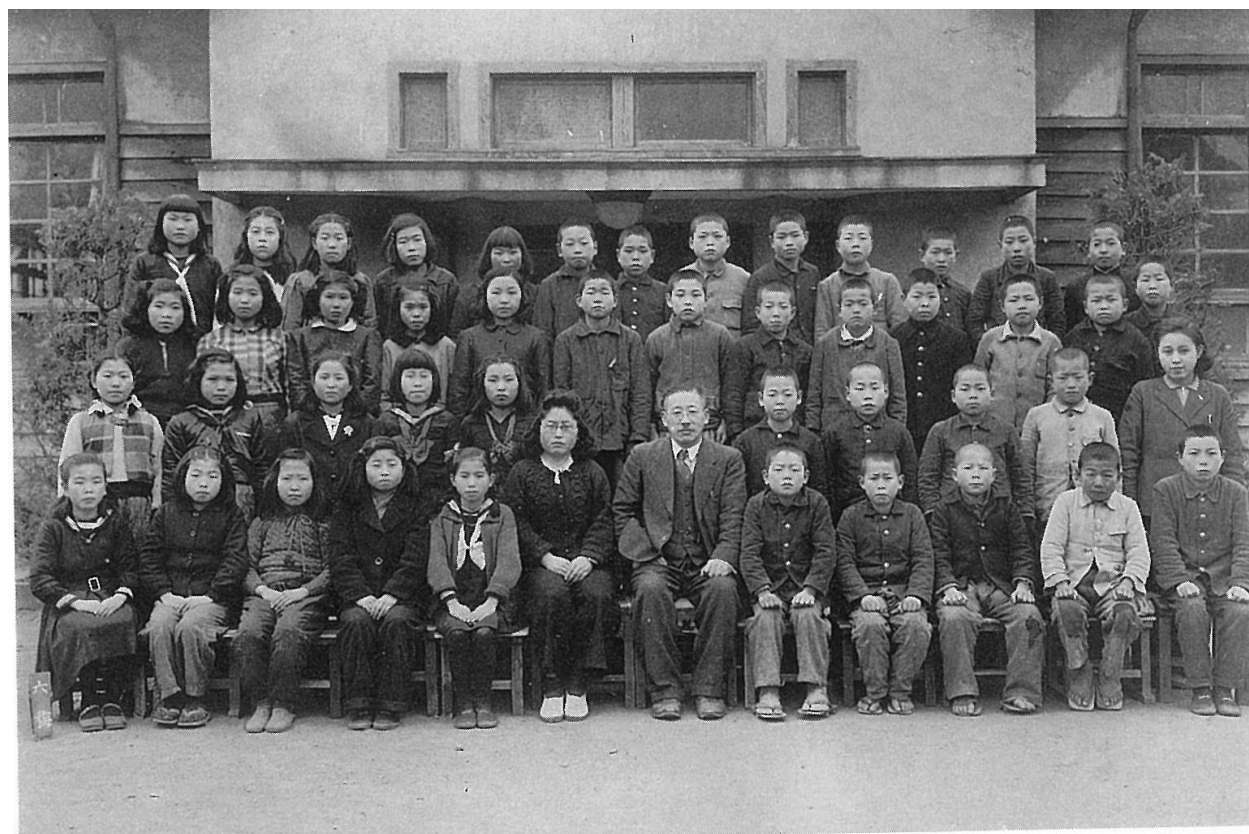
昭和15年2月、このころになると女子はセーラー服が目だってくる(座間小学校)



昭和15年2月、座間小学校



昭和18年2月、座間小高等科女子卒業記念。
全員がモンペ姿、戦争は女生徒の服装にも現れて
いる。



昭和23年度座間小学校卒業記念。
この年座間町は相模原町から分離する。

実業補習学校



実業補習学校は明治39年に創設。農業についている青年男女を対象とし、座間小学校と栗原小学校にそれぞれ併置された。その目的は、農業に必要な知識・技能を授けると同時に、普通教育の補習を行った。また、女子部は裁縫、家事が中心であり、裁縫科とも呼んでいた。

写真は第一実業補習学校(座間小学校内)女子部卒業記念。大正2年ごろ。



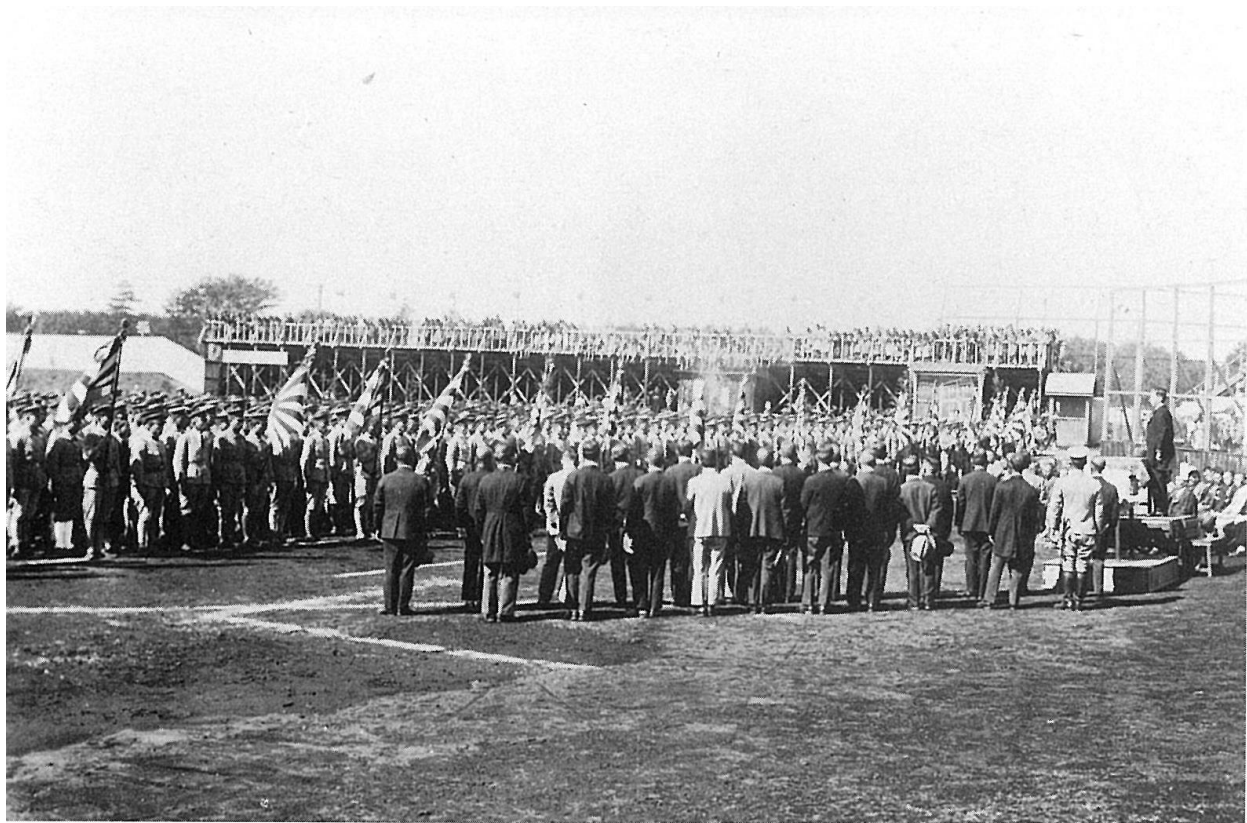
大正11年4月1日栗原小学校が座間小学校に合併されたのに伴い、実業補習学校も座間村立実業補習学校栗原分教場となった。

写真は**大正11年度栗原分教場卒業記念** 男子部。



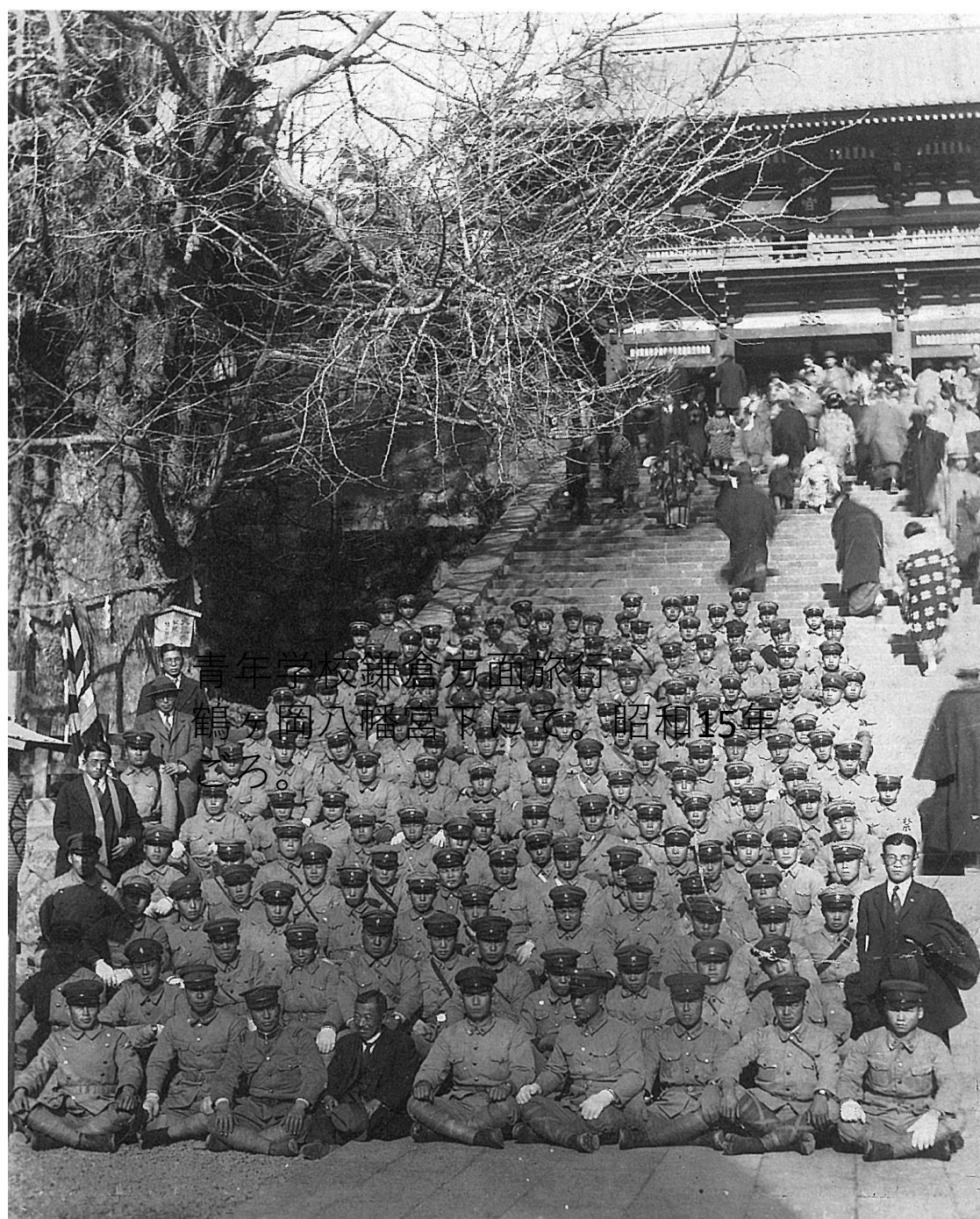
大正11年度栗原分教場卒業記念 女子部。

青年訓練所から青年学校へ



実業補習学校は昭和6年5月青年訓練所に充当される。さらに昭和10年4月青年学校令が發布され青年学校となる。その目的は、男女青年に対し心身の鍛練、徳性の涵養、職業及び実生活に必要な知識技能を授け、国民としての資質を向上させることとなっているが、実情は軍事教練が重視され、軍事教育が強化されていった。

写真は昭和6年10月、高座郡青年訓練所大会が大和市南林間の野球場で行われ、座間からも117人が参加した。



青年学校鎌倉方面旅行
鶴ヶ岡八幡宮下にて。昭和15年ごろ。

卒業記念行事



記念植樹

大正2年、座間小学校高等科卒業生による卒記念植樹、残念ながらこの松は残っていない。



ひな祭り

大正3年ごろ、実業補習学校の生徒か。
このころ卒業記念にひな祭りを行っていた。

普段着の生徒



農業実習

大正13年ごろ、実習地は初め天神原(座間基地内)にあったが、このころ学校敷地内西北側に移した。



クラス記念

大正5年。このころ普段着のままの記念撮影はめずらしい。座間小学校高等科1年。

運動会



栗原小学校運動会

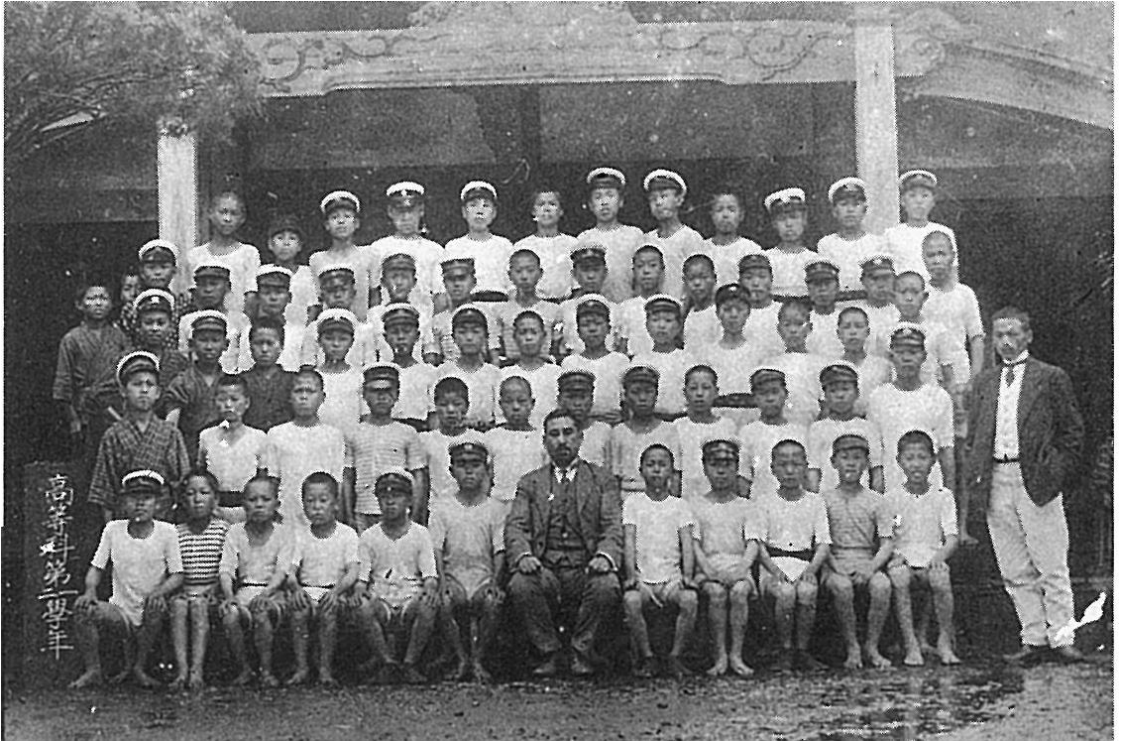
大正5年ごろ。戦前まで運動会や学芸会など学校の大きな行事は村民総出の行事だった。

この写真を見ると当時の栗原地区全員が参加しているようである。



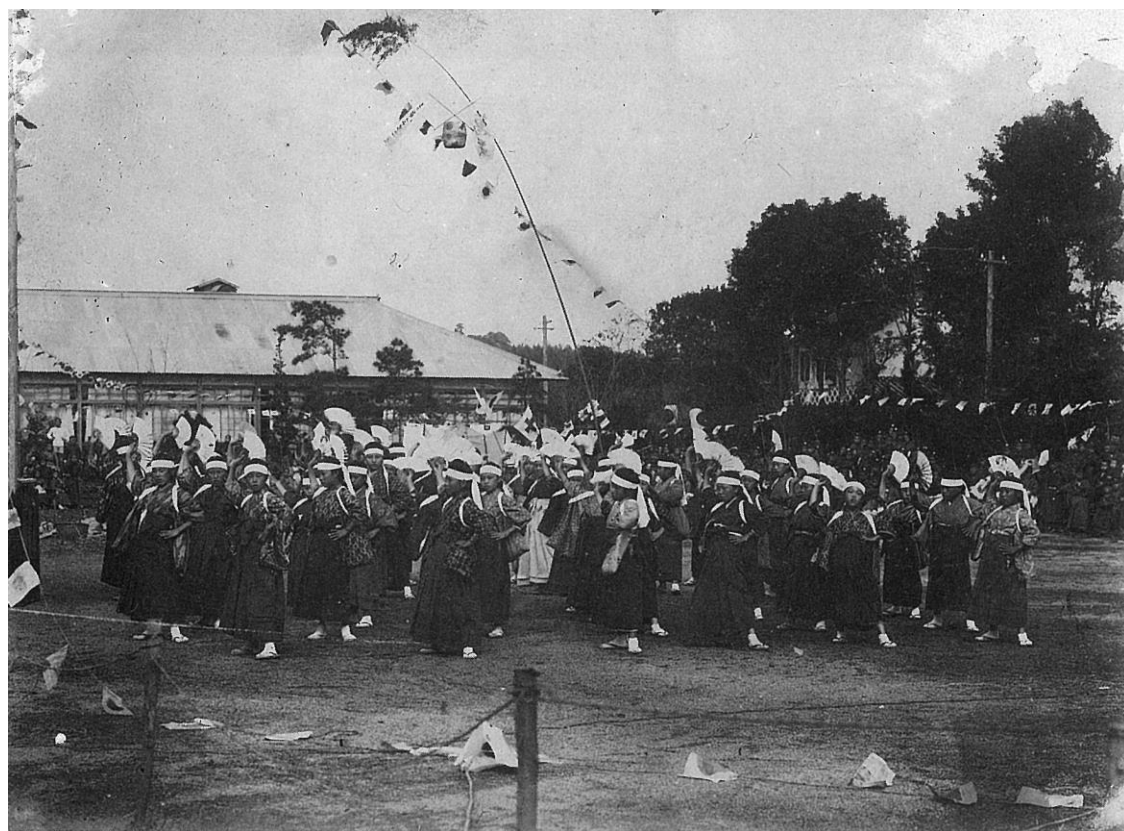
運動会の服装1

大正9年、座間小学校高等科男女生徒の運動会記念。



運動会の服装2

男子の服はサルマタと呼んだ下着であり、
当時はこれで運動をした。



高等科女生徒による舞踊。
曲目は白虎隊か。大正8年ごろ。
座間小学校運動会。



戦後の運動会

準備体操。昭和25年ごろか。まだ服装もまちまちである。手前のつつみは弁当であろうか。



リレー競争、昭和27年座間小学校。

学芸会



明治の終わりから戦後もしばらくの間、小学校で開催された学芸会は、最初、卒業式の恒例の行事として行われ、午後は卒業生を中心とした演劇が披露され、この日は学校あげてのお祭りとなった。その後は3月の節句に学芸会として独自に開催されるようになった。

写真の出し物は花咲かじじいか、昭和10年ごろ。



昭和7年ごろ。演目は絵日傘。



座間小学校大学芸会

学芸会は、戦後も35年くらいまで非常に盛んに行われた。写真は六年生による「さらば友よ、母校よ栄えあれ」の大コーラス。

昭和28年3月。



お母さんの会話？



「因幡の白兔」 (昭和35年ごろ)



昭和29年、公民館講堂の落成記念にも行われた。演じるは「良寛さん」。

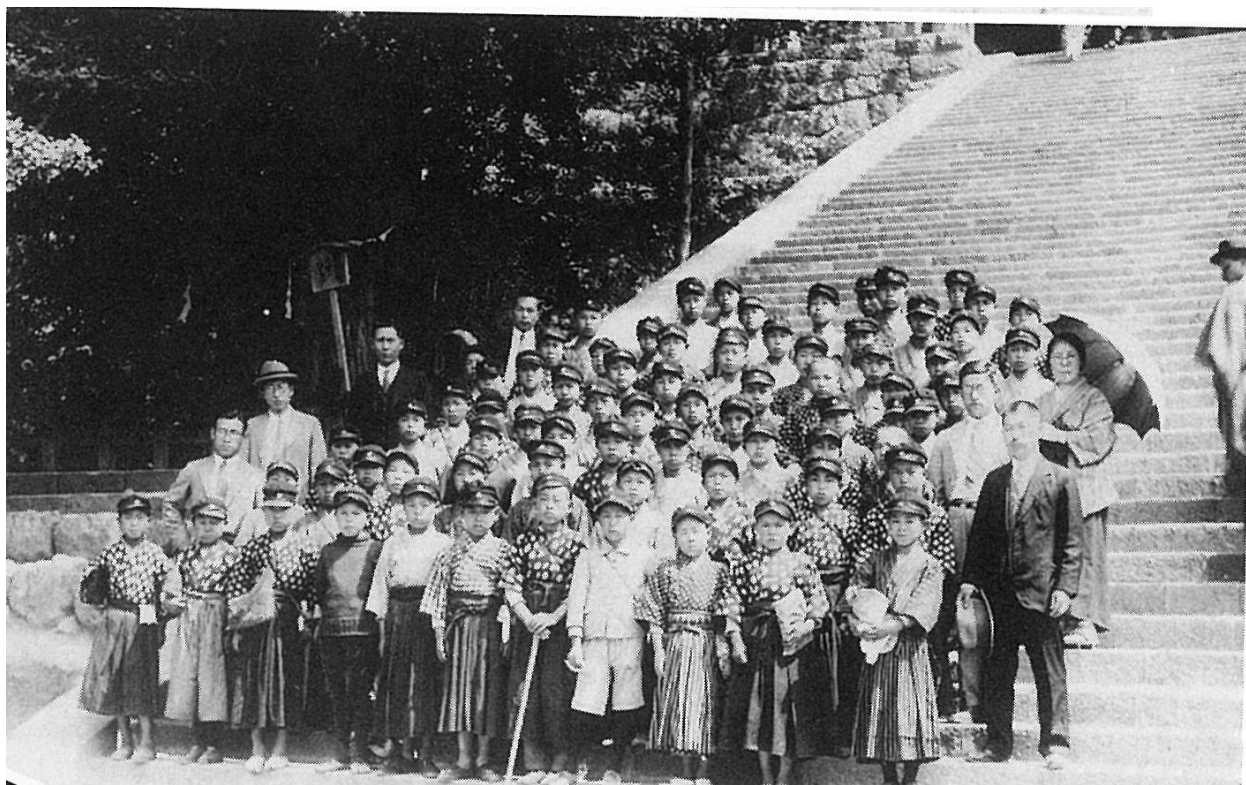
遠足



学校生活での一番の楽しみはなんといっても遠足であっただろう。

前の晩は興奮してなかなか寝つかれない。翌朝、眠い目をこすりながら弁当などを詰め、飛ぶように学校へ行った…。

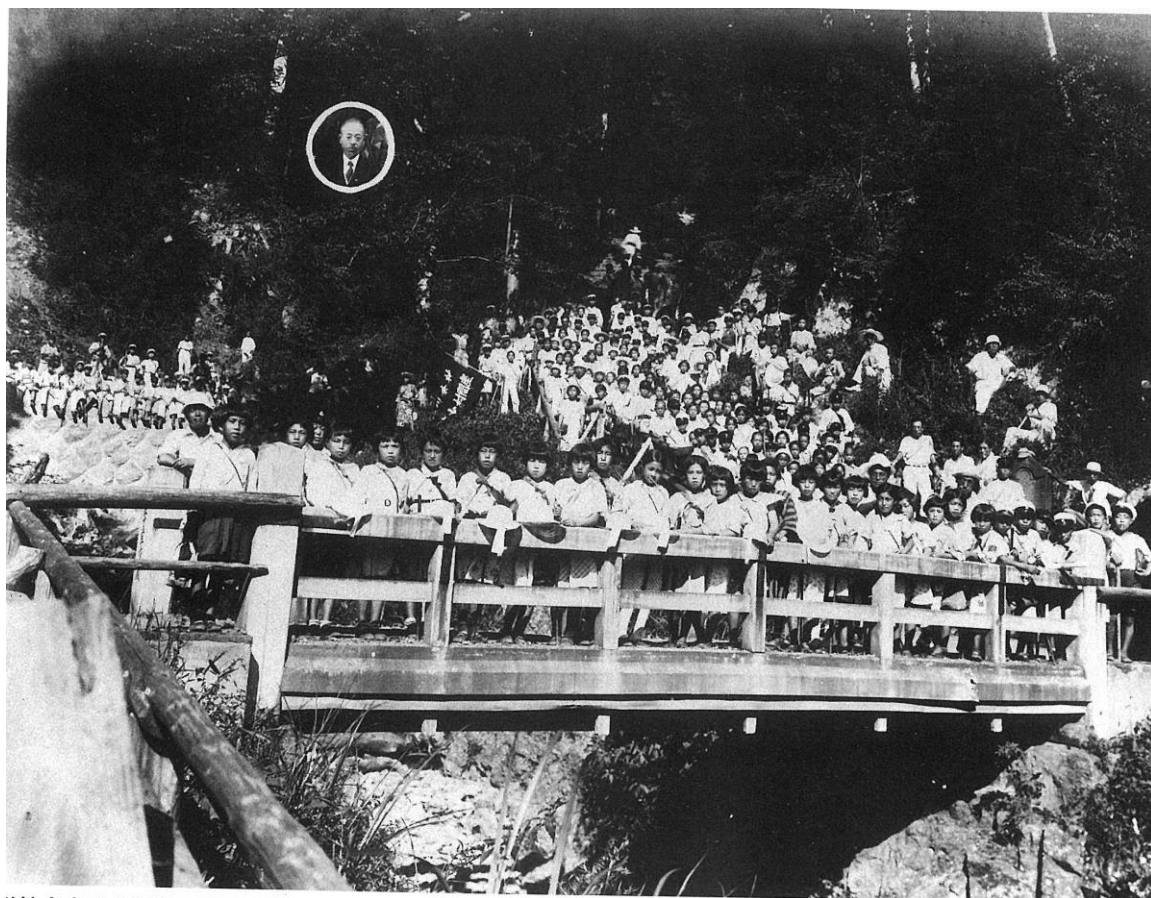
写真は茅ヶ崎海岸(昭和15年ごろ)



昭和7年度座間小学校尋常科卒業生
鎌倉方面遠足。



昭和12年、座間小学校5年高尾山へ。



耐熱大山登山記念

昭和11年8月、座間小学校では毎年8月、暑さに打ち勝つ体力をつける目的で行っていた。



バス旅行

昭和29年、三浦半島へバス旅行。
前年から旅行にバスが使われるようになった。



バス旅行

車中の児童

スポーツ



テニス

大正3年ごろ、この時代にテニスは大変めずらしい。師範学校出身の若い先生がもってきたものか。



相撲

昭和21年、授業で行われたものか。戦争中から相撲が盛んに行われ、当時の座間小学校には土俵が残っていた。

競技部の活躍



昭和7年度座間小学校競技部、厚木高女排球大会並びに鳩川高女リレー大会優勝記念。特に女子部が強かった。



昭和11年度座間小学校競技部。数々の優勝旗や賞状によって、その活躍ぶりがうかがえる。

バレーボール



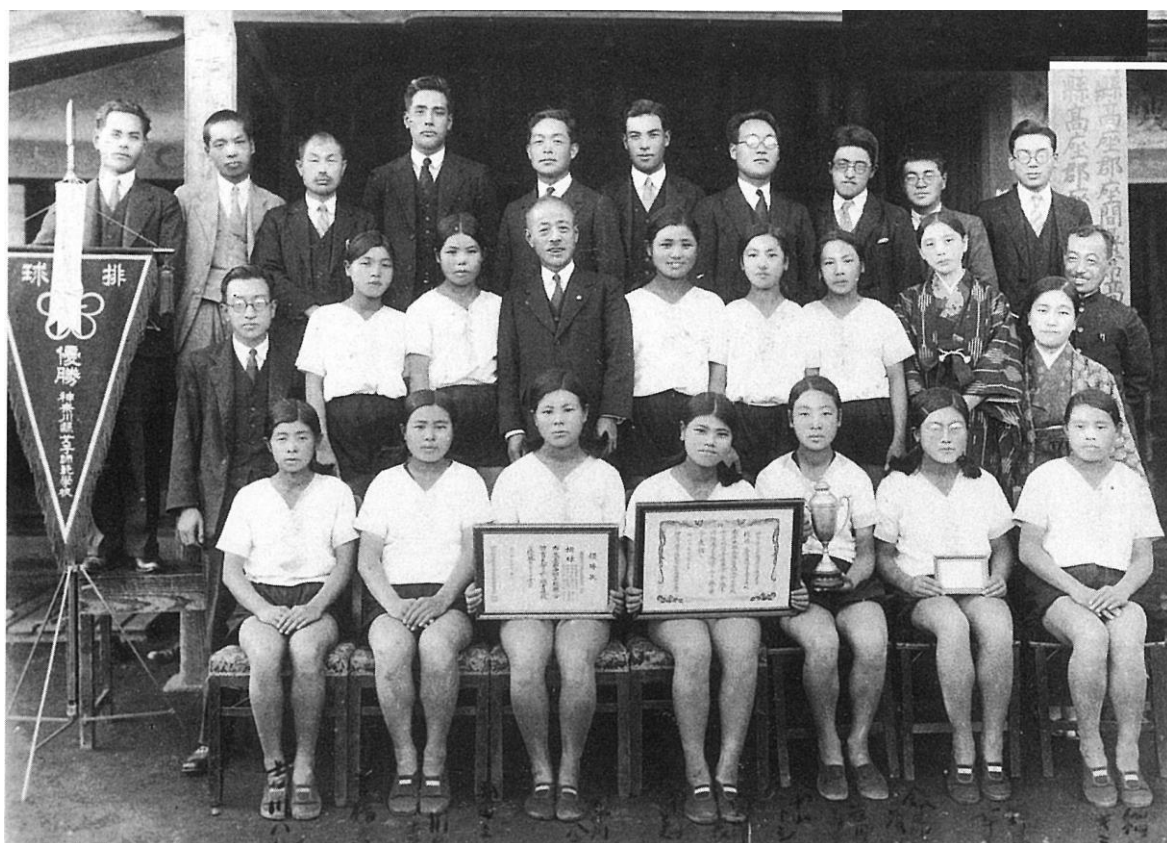
昭和に入ると、座間をはじめ近隣の村々にバレーボールが広まった。特に女生徒の間で盛んとなり、厚木高等女学校や神奈川県女子師範学校などが主催する大会が開催された。

座間小学校も次第に力をつけ、昭和7年には厚木高等女学校の大会に優勝、さらに昭和10年には女子師範の大会にも優勝してその名を県下にとどろかした。そして、この伝統は戦後も長く続いた。

写真は練習風景、ほとんどの生徒が和服である。昭和9年、座間小学校。



若き指導者と優勝カップ（昭和7年秋）

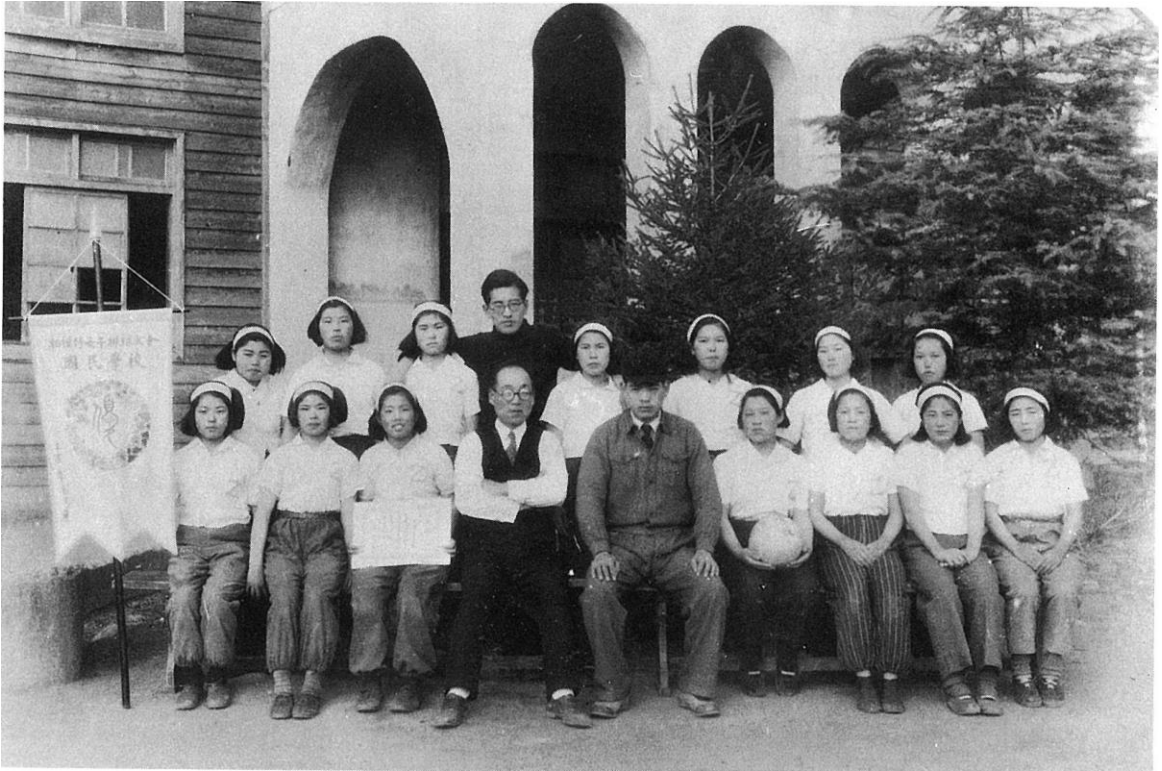


昭和10年神奈川県女子師範学校大会等
優勝記念



戦いのあと

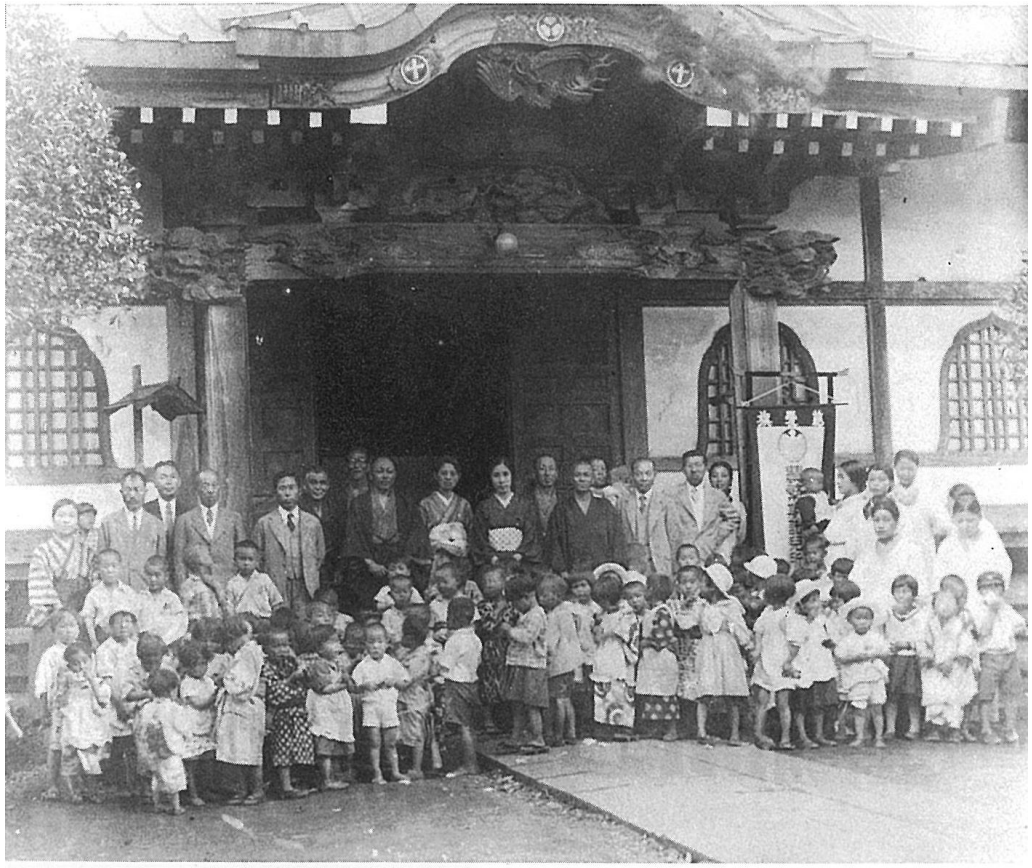
昭和12年10月ごろ、神奈川県女子師範学校にて、この年おしくも決勝で敗れ、三連覇はならなかった。



相模野女子排球大会優勝記念

モンペ姿が終戦直後を感じさせる。
昭和21年。

農繁期託児所



農繁期託児所知事表彰及び知事夫人視察記念
(昭和11年6月22日)



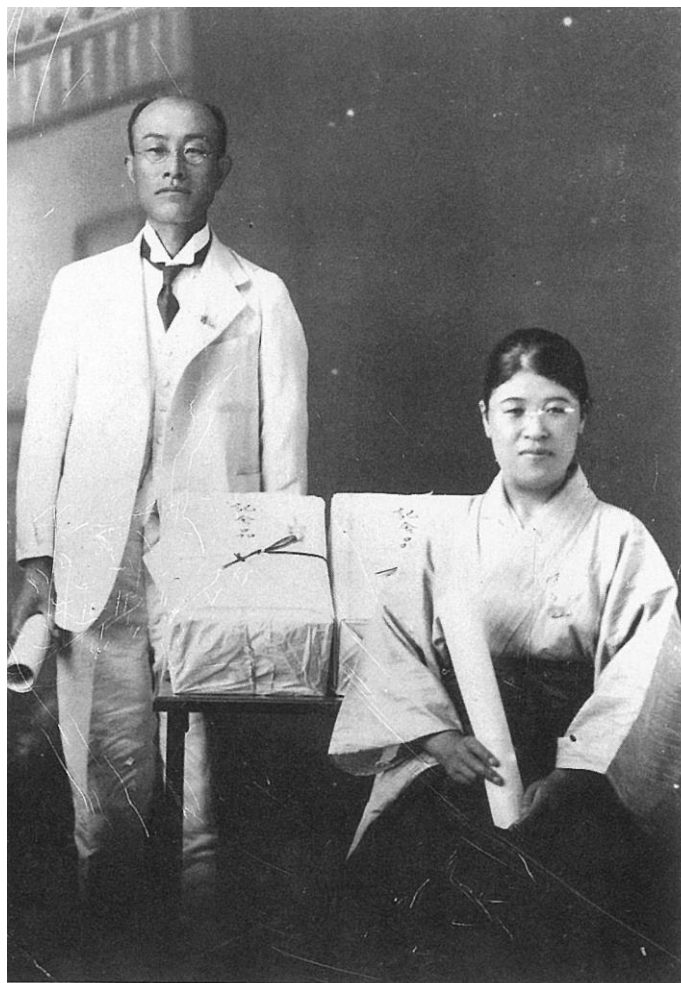
座間1丁目の宗仲寺では、昭和7年から17年まで春秋の農繁期に1ヶ月ずつ託児所を開き、近所や檀家の子供を預かった。100名もの子供たちが集まって来たという。



わかば保育園開園式記念

農繁期託児所は座間における保育の始まりといえるが、戦後24年座間保育園が、25年わかば保育園があいついで開園した。

幼年会



明治33年、座間河原宿の鈴木利貞氏によって始めら幼年会は、健全な地域社会をつくり上げるために、幼少のころから社会生活・団体生活を体験させ、立派な社会人を育て上げようという目的でつくられた団体で、座間独自のものであった。

会は小学校から高等小学校の生徒で組織され、子供の手で自主的に運営された。この会は各地へ広がり、大正元年には座間小学校の教育経営の中に取り入れられた。

写真は昭和2年7月のもので幼年会の創始者鈴木利貞と女子青年会の創始者高松ミキ。青少年教育の功により県知事表彰を受ける。



大正初期の座間小学校の先生

中央が幼年会を座間小学校の教育に取り入れた増島校長。



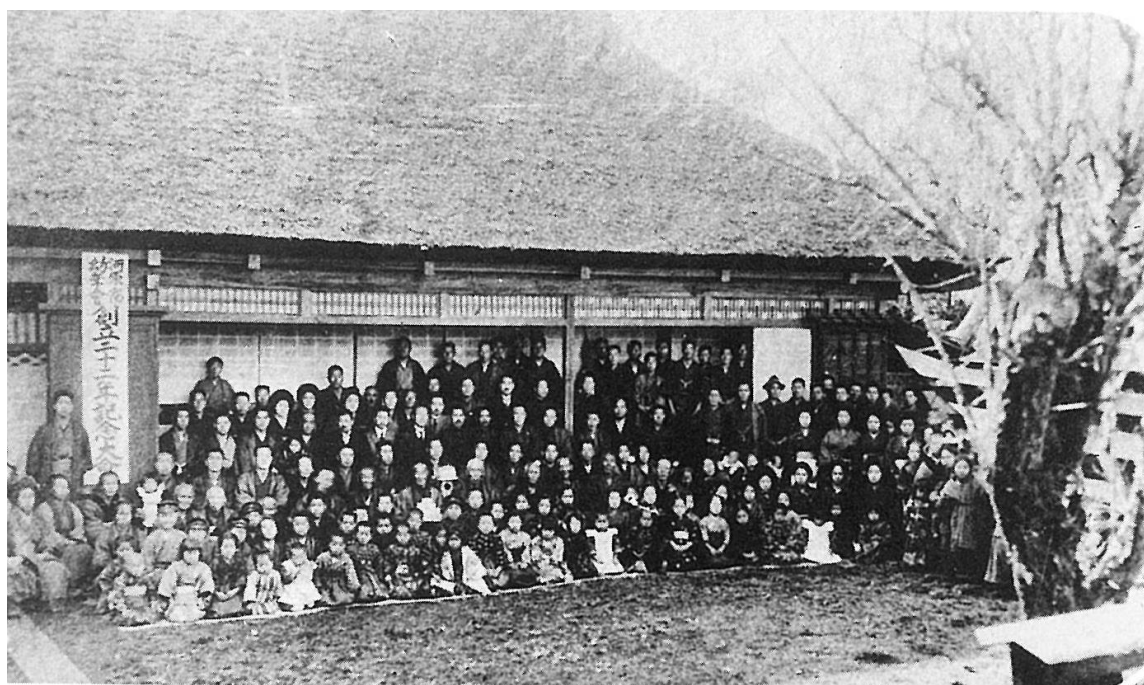
成長した仲間

幼年会ができた当初の仲間たちの10年目の記念。明治43年。



縄ない、麻糸つなぎ

幼年会の一切の活動費は、写真のように
自分たちの勤労によって生み出した。
大正初期。



河原宿幼年会創立22周年大会

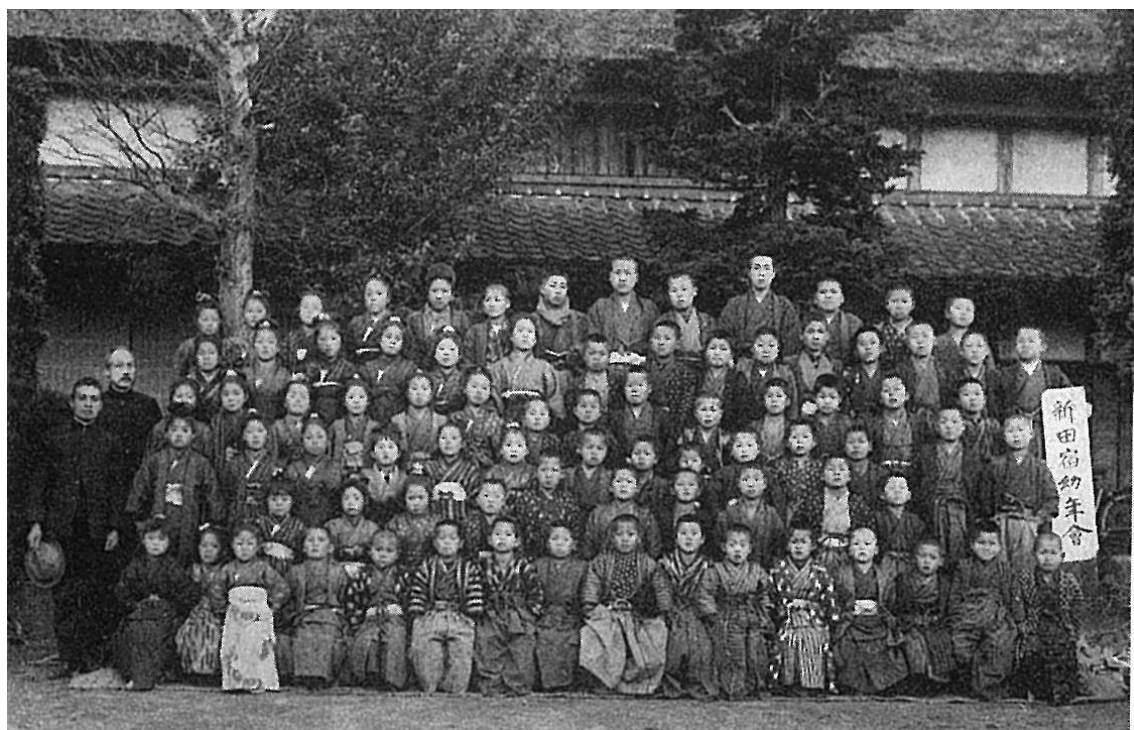
大正10年。幼年会が座間小学校の教育に取り入れられて10年目に当たり、各地域の幼年会で記念大会が盛大に催された。



河原宿幼年會第二部

大正元年、幼年會の組織が全村一体となったのを機会に、それ以降は第二部となった。大正11年。

各地域の幼年会



新田宿幼年会

指導するのは新田浪江、沢田亦重の両先生。
大正初期。



上宿幼年会

場所は座間神社。大正初期。



皆原幼年會

中央の先生は桜井昶。大正初期。

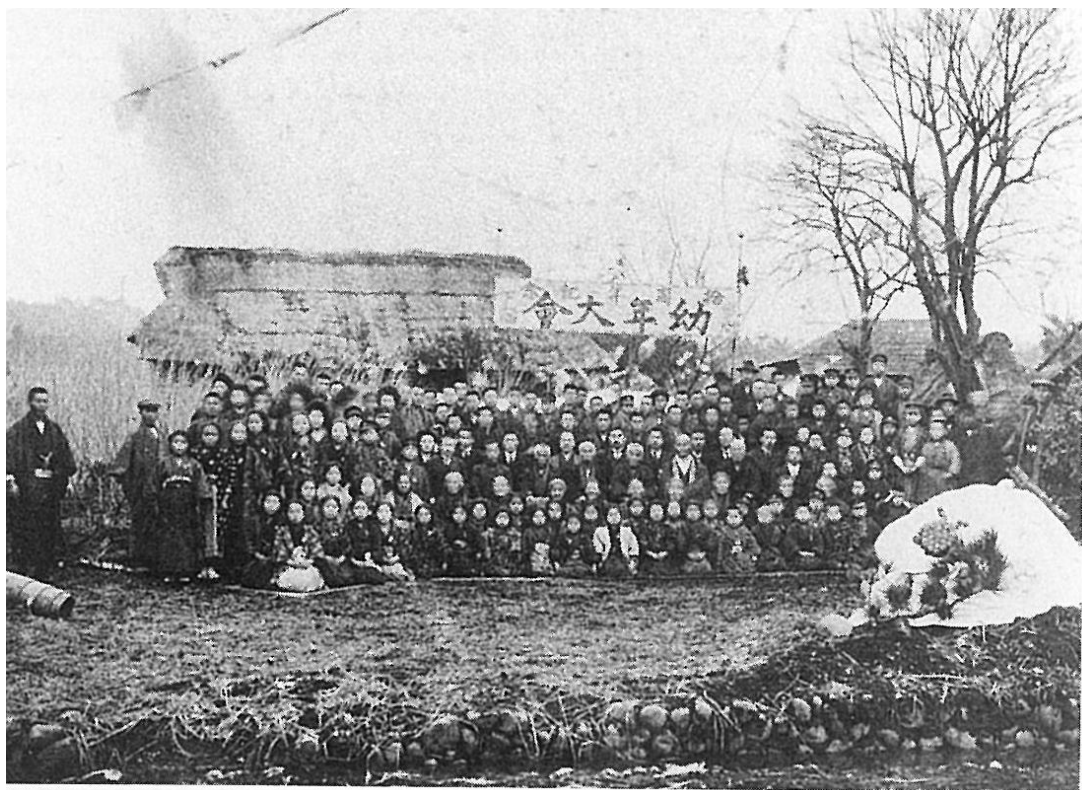


中宿幼年會

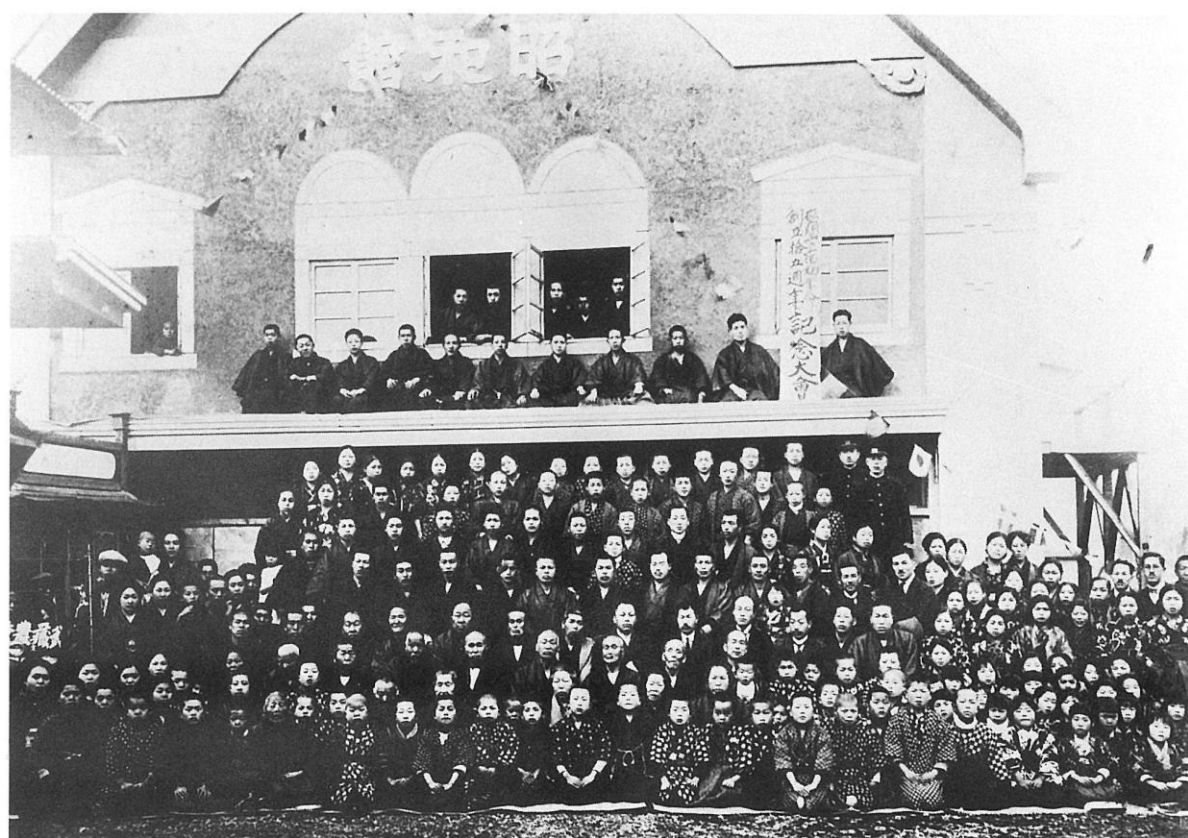
中央は中村恒之。大正初期。



皆原幼年会10周年記念大会 (大正10年)



下宿幼年会10周年記念大会(大正10年)



下宿幼年会創立15周年記念大会

場所は下宿東裏にあった昭和館、中央には当時の村長稲垣許四郎や教員たちの顔が見える。

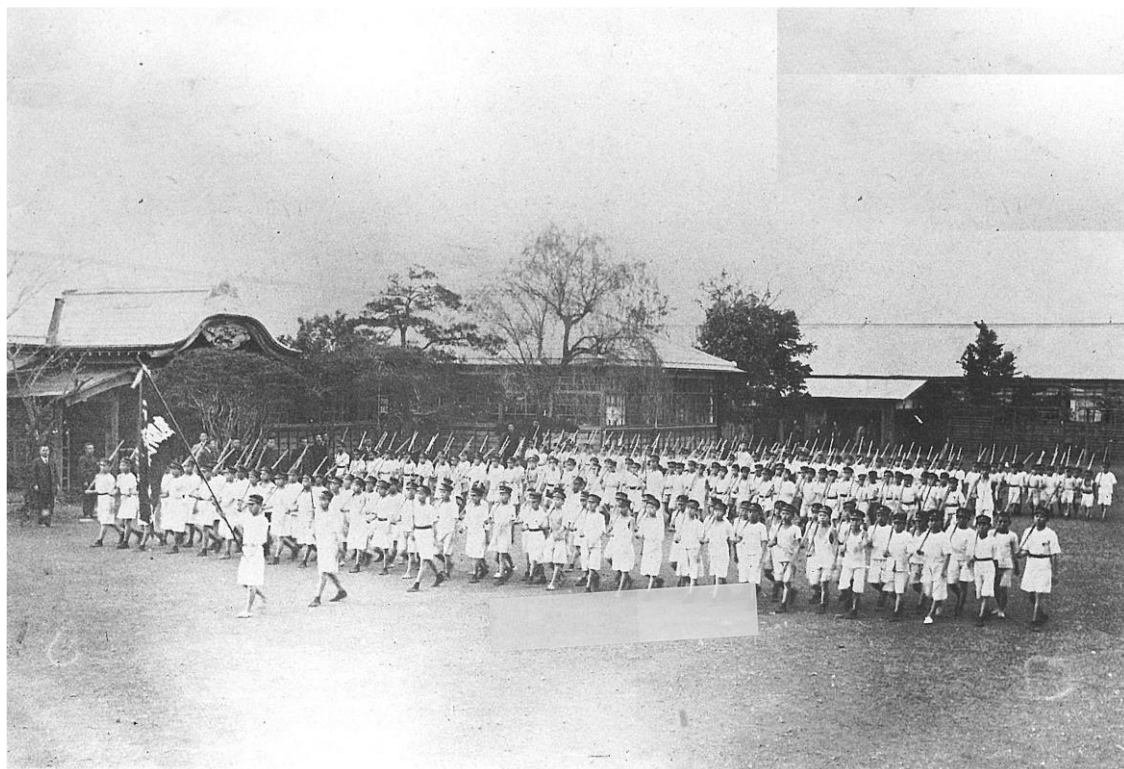
昭和館は活動写真などが行われた常設館で、昭和2年3月に完成した。この写真はその年に撮られたもの。



入営記念

大正12年度の人たちの入営。同級生、先生方が多数参加している。このころ、入営の送行会は幼年会が主催して行っていた。

少年団



大正時代は少年団活動の創設期で、大正11年には第一回の全国大会が開かれる。そして、これをさかいに幼年会員中五年生以上をもって少年団が組織された。

写真は団体訓練。 団杖を用いた座間村少年団の分列行進。大正12年。



大山登山 (大正11年)

処女会・女子青年会



大正時代の末になると、各地域に女子だけで組織された、処女会が作られた。その後、この会は座間小学校の先生高松ミキ等により女子青年会へと発展し、地域社会に根ざした活動が行われた。

写真 は 河原宿処女会(大正11年)



座間村女子青年会



指導者たち

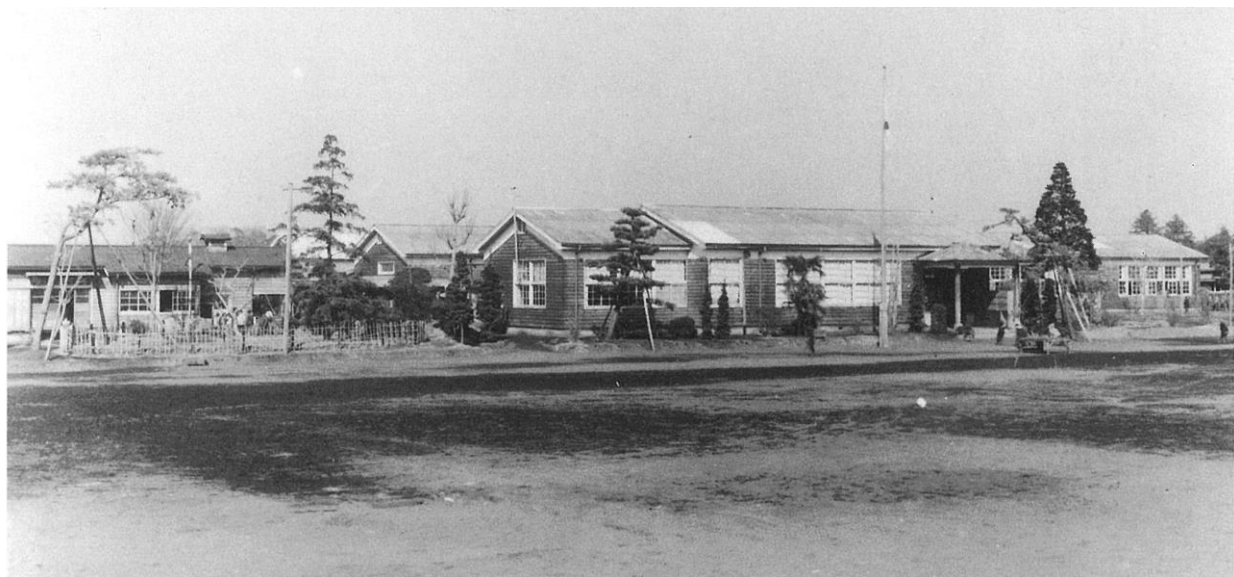


洋裁講習会



読書会

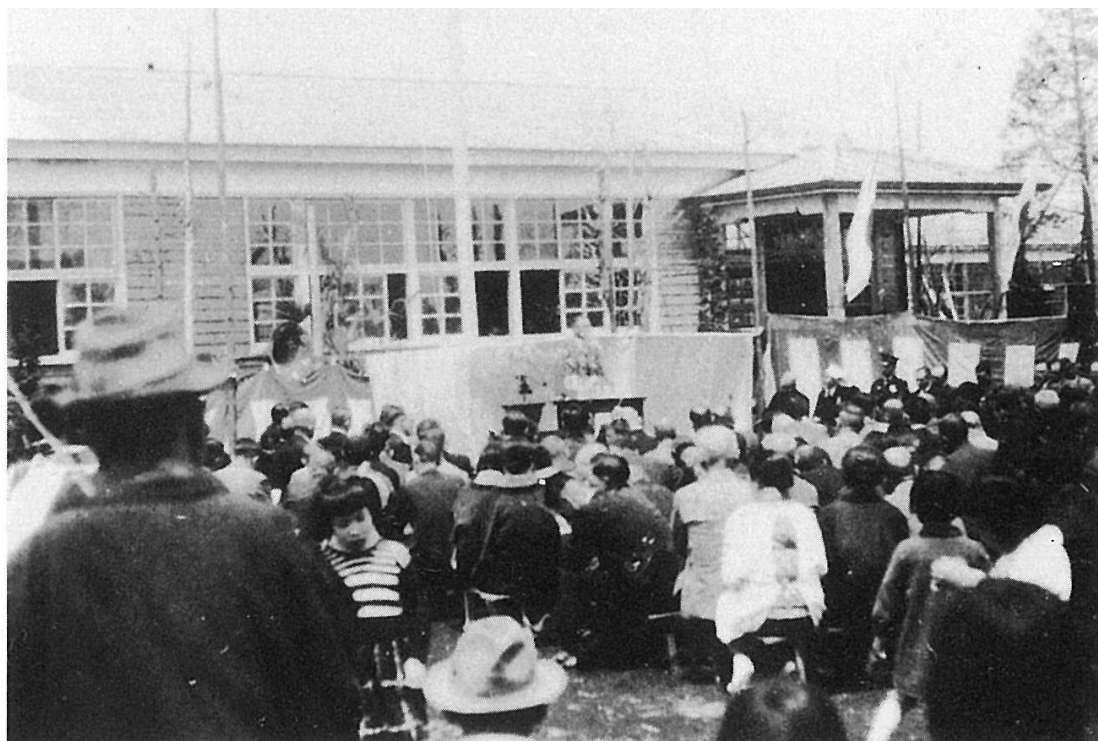
第二小学校の誕生



昭和25年4月、栗原地域の人々が待望する座間第二(栗原)小学校が完成した。それまでは5、6年生は座間の本校まで、遠くしかも山坂の多い道を通わなければならず大変であった。

このようなことから、戦後父兄たちから独立の機運が高まった。学校建設は、敷地の寄付、寄付金、労働奉仕など、物心両面からの地元民の援助により完成、地元民総出の盛大な開校式典が行われた。

写真は、完成した校舎の全景。



竣工式典 (昭和25年4月28日)



落成式記念
写真は協議会役員



落成式記念

写真は消防団。

座間中学校



昭和22年4月、6・3制という義務教育制度がスタートし新制中学が誕生した。座間でも座間小学校の一部を借用、翌月5日座間中学校の開校式が行われた。

その後、昭和23年10月12日相模原町内旧陸軍88部隊の兵舎を借り受け移転、一方で町内移築用地の確保に努めた。昭和24年現在地に用地決定、同25年7月建設に着手する。

しかし、昭和25年6月88部隊は進駐軍に接收され、再び座間小学校へ移転、建設がいそがれた。この間、朝鮮動乱による物価の変動、天候不順などにより工事は難航するが、PTAが勤労奉仕などで側面から援助、昭和26年2月待望の校舎が完成した。付近の字名も中学生から募集され、緑ヶ丘となった。

写真は、座間中学校創立当時の三年生と先生。



**旧陸軍東部88部隊跡に間借り時代の
校舎全景**



運動会も開催される。昭和25年ごろ。



授業の様子

写真は、学級自治会(昭和24年)



授業の様子
家庭科(昭和24年).



落成式

昭和26年2月、新校舎が完成、落成式が行われた。



昭和30年、学校施設も充実する。
しかし周囲はまだ畑だけである。

終戦直後のスナップ



ZSH 座間小放送

「1950年のハイライト」出演児童及び職員。
戦後いち早く放送が教育に取り入れられた。



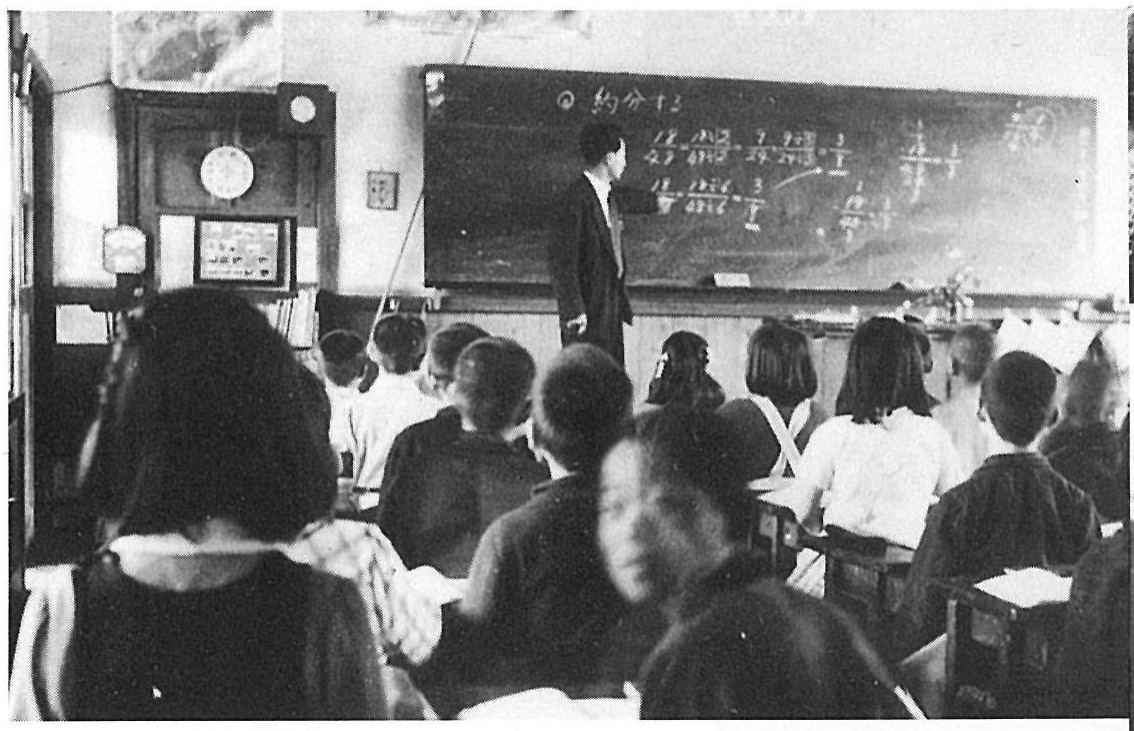
子供気象台 座間小学校(昭和25年)



座間中学校野球部

昭和23年、戦後の少年たちの野球熱はすごかった。
創立直後の座間中学校にも野球部が誕生した。
(座間小学校運動場にて)

スナップ 授業風景



数学一約分 (昭和28年6月)



国語一漢字の読み書き(昭和28年2月)



理科一化学実験 (昭和26年1月)



お店屋さんごっこ (昭和25年11月)



社会一子供郵便局 (昭和26年1月)



音楽一コーラス(昭和26年1月)



体育ーソフトボール (昭和27年)

ハーモニカ リード合奏



座間第一小学校のリード合奏クラブは、野崎(村田)先生をはじめとする熱心な指導者に恵まれ、「こども音楽コンクール」「国際音楽コンクール」などの大会で優秀な成績をおさめ、まさに昭和30年代の同校を代表するものであった。

写真は、昭和33年、こども音楽コンクール関東大会に出場時。



昭和36年、第8回国際音楽コンクール
(県立音楽堂)

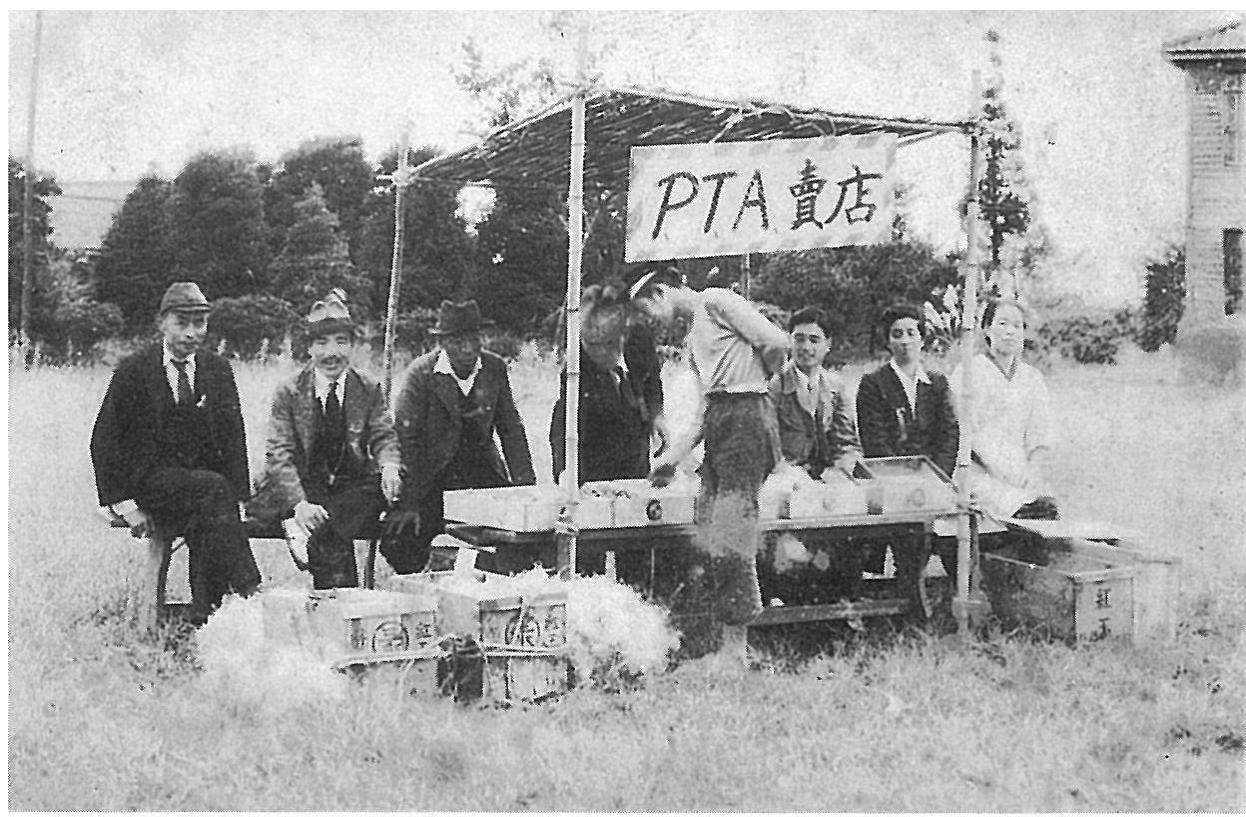


少年野球大会にも演奏。生徒の中には野球服姿も。昭和33年。



昭和23年PTAが発足した。創立期のPTA活動は学校への勤労奉仕が多く、校庭や通学路の整備などに積極的に参加した。

写真は、校庭整理に奉仕する座間小PTA。



88部隊跡時代の座間中学校運動会でリンゴの売店を出す。昭和25年。



暗幕 座間小学校図書室の暗幕づくり。

給食



昭和35年2月、PTAを中心とする人たちの大きな努力により、座間第一小学校において待望の給食が開始された。

給食の実施は児童の栄養不足を補うだけでなく、一つには児童の心身の健全な発達に資すること、さらに給食を通して地域社会の食生活を改善するという大きな目的で行われた。



給食開始直後の座間小学校の雰囲気。給食は生徒たちの最大の楽しみとなり、出席率も良くなるという現象も現れた。昭和35年。



昭和38年3月には、座間第二(栗原)小学校でも開始された。

学び舎編

完